

地域イノベーション・エコシステム形成プログラム 令和4年度 シンポジウム

令和5年3月10日（金）14:00～17:00（13:30受付開始）

会場 アートホテル盛岡 3F 鳳凰の間
（盛岡市大通3-3-18）

申込方法 要事前申込 令和5年3月8日（水）締切
参加の方は事前に申込みフォームに入力下さい。



申込みフォーム

参加費
無料

岩手大学と岩手県は、文部科学省事業「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」において、エレクトロニクス実装分野への応用を目指した「分子接合技術」と「特殊樹脂精密合成技術」の研究開発を実施しています。本シンポジウムでは、本事業での研究成果や、地域のものづくり企業における活用事例を紹介し、今後の技術展開の将来性を考えます。

プログラム

挨拶 岩手大学 学長 小川 智
岩手県 知事 達増 拓也

来賓挨拶 文部科学省 科学技術・学術政策局産業連携・地域振興課
拠点形成・地域振興室長 梅原 弘史 氏

（1）特別講演 14:15～15:00（45分）
「ITがけん引する高集積半導体とパッケージング技術の進展」
国際技術ジャーナリスト 津田 建二 氏

（2）事業報告 15:00～15:30（30分）
総括 事業プロデューサー 藤代 博之
プロジェクト1 平原 英俊、鈴木 一孝
プロジェクト2 大石 好行

（3）パネルディスカッション 15:50～16:55（65分）
モデレーター 事業プロデューサー
パネリスト 株式会社朝日ラバー 代表取締役
株式会社いおう化学研究所 代表取締役
京浜光膜工業株式会社 秦野工場技術部 次長
コメンテーター

技術の特徴

高密着平滑めっき、異種材料結合、
三次元配線、新規低誘電樹脂材料

藤代 博之
渡邊 陽一郎 氏
森 克仁 氏
中村 圭汰 氏
津田 建二 氏

主催：岩手大学、岩手県

共催：岩手大学分子接合技術研究センター、地方独立行政法人 岩手県工業技術センター

後援：公益財団法人 いわて産業振興センター、いわて半導体関連産業集積促進協議会、
いわて自動車産業集積促進協議会、東北ライフサイエンス・インストルメンツ・クラスター、
いわて医療機器事業化研究会、岩手ネットワークシステム、INSポリマー研究会、東北ポリマー懇話会

地域イノベーション・エコシステム形成プログラム 令和4年度 シンポジウム

特別講演者・パネルディスカッション登壇企業 紹介

（１）特別講演者

津田 建二 氏

（セミコンポータル編集長、NEWS & CHIPS編集長、国際技術ジャーナリスト）



現在、英文・和文の独立系技術ジャーナリスト。40年間、半導体産業取材してきた経験を生かし、NEWS & CHIPS (newsandchips.com) を通し半導体産業にさまざまな提案をしている。セミコンポータル (www.semiconportal.com) 編集長を務めながら、マイナビニュースの連載「カーエレクトロニクス」のコラムニストでもある。

半導体デバイスの開発等に従事後、日経マグロウヒル社（現在日経BP社）にて「日経エレクトロニクス」の記者に。その後、「日経マイクロデバイス」、英文誌「Nikkei Electronics Asia」を創刊、日経BP社を20数年すごした。その後、リードビジネスインフォメーションに移り、「Electronic Business Japan」、「Design News Japan」、「Semiconductor International日本版」を相次いで創刊した。2004年に代表取締役役に就任。2007年6月に独立系の国際技術ジャーナリストとして独立。執筆書籍は「メガトレンド 半導体2014-2023」（日経BP社刊）、「知らなきゃヤバイ！ 半導体、この成長産業を手放すな」、「欧州ファブレス半導体産業の真実」（共に日刊工業新聞社刊）、「グリーン半導体技術の最新動向と新ビジネス2011」（インプレス刊）など。

（２）パネルディスカッション登壇企業

株式会社いおう化学研究所

異種材料接合に関する技術相談、受託研究開発、生産立ち上げ支援および分子接合剤の販売などを行っており、通常の接着剤ではつかないような材料の接合を得意とする会社です。

株式会社朝日ラバー

本社は埼玉県、工場を福島県に構え、弾性無限への挑戦をテーマに、自動車・医療ライフサイエンス・機能・通信分野などにご利用いただく製品の製造販売を手がけています。産官学との共創の場が大好きで、ソフトマテリアルの新たな可能性を追求しながら、新たな事業を生み出す機会を創造しています。

京浜光膜工業株式会社

当社は1957年の創業以来、真空蒸着法による光学薄膜部品の専門メーカーとして数多くの部品を提供してきました。2020年に将来有望視されているM I Dを新規事業として取り組み始めましたが多くの課題があることが分かりました。その解決策には『分子接合技術』が有効であることを知り、現在岩手大学、岩手工業技術センターと共同研究を行っています。

主催：岩手大学、岩手県

共催：岩手大学分子接合技術研究センター、地方独立行政法人 岩手県工業技術センター

後援：公益財団法人 いわて産業振興センター、いわて半導体関連産業集積促進協議会、

いわて自動車産業集積促進協議会、東北ライフサイエンス・インストルメンツ・クラスター、

いわて医療機器事業化研究会、岩手ネットワークシステム、INSポリマー研究会、東北ポリマー懇話会